

ミステリ読書案内

2019.12.1 発行元

第1号 伊藤 剛

今野敏のベスト表

この『ミステリ読書案内』をスタートするにあたり、どの作家を取り上げようかと迷ったが、いずれの年齢層からも幅広く受け入れてもらえる要素を持つ実力者・今野敏を選んだ。現役作家の中で抜群の安定感である。

《今野敏作品のベスト表》

1. 隠蔽捜査
2. 果断 隠蔽捜査 2
3. 疑心 隠蔽捜査 3
4. ビート
5. 同期
6. 転迷 隠蔽捜査 4
7. 宰領 隠蔽捜査 5
8. 去就 隠蔽捜査 6
9. 棲月 隠蔽捜査 7
10. ST緑の調査ファイル
11. ST赤の調査ファイル
12. 曙光の街
13. ST桃太郎伝説ファイル
14. ST警視庁科学特捜班
15. 黒いモスクワ ST科学捜査班
16. リオ 警視庁強行犯係樋口頭
17. 半夏生
18. 欠落
19. アキハバラ
20. イコン
21. ST青の調査ファイル
22. 残照
23. TOKAGE 特殊遊撃捜査隊
24. 熱波
25. 天網 TOKAGE 2
26. 確証
27. 虎の尾 渋谷強行犯係
28. クローズアップ
29. 夕暴雨
30. エチュード
31. 連写 TOKAGE 3
32. 二重標的
33. 凍土の密約
34. ST毒物殺人
35. 殺人ライセンス
36. 逆風の街
37. 義闘 族狩り 拳鬼伝
38. 白夜街道
39. 禁断
40. ペドロ

以下、

- 特殊防諜班シリーズ 奏者水滸伝シリーズ
- 任侠学園シリーズ 闘神伝説シリーズ
- 聖拳伝説シリーズ 時空の巫女シリーズ
- 潜入捜査シリーズ 孤拳伝シリーズ
- など 他にも多数

今野敏作品「ベスト表」を組む

私の今現在の今野敏の読書冊数は161冊。彼の初期・中期にかけて発表したSF系列、格闘技関連作品以外は、ほぼ全作品読んでいると言ってよい。

私がお金がないので、たいていは文庫の形になってから買うことが多いのだが、今、四六判単行本の形で新刊が出ると必ず買う数少ない作家の一人である。

右に、私が思う、独断の『ベスト表』を載せてみた。この『作家別ベスト表』が、私の今回の『ミステリ読書案内』連載のひとつの目玉だと受け取ってもらえればよい。

この順位表・ランキング表にたいして意味があるわけではない。私の主観的な評価にしか過ぎないのだから。ただ、読んでくれている人の読書意欲に、何等かのきっかけを与えてくれればと思うだけである。

「隠蔽捜査」シリーズ

右の『ベスト表』、どうしても上位に『隠蔽捜査シリーズ』が並んでしまう。

「隠蔽捜査シリーズ」は、毎年発行される宝島社の『このミステリーがすごい!』でも、2007年に『果断』が4位にランキングされたように、今野作品の中ではレベルが高い。特にシリーズの初期作品は、インパクトが強く、抜群の面白さだった。ということで、今野敏の一番のお

勧めは『隠蔽捜査シリーズ』ということになる。いずれも新潮社から出版されている。

「ST 科学特捜班」シリーズ

シリーズ物で言うと、2番目に推すのは『ST 科学特捜班シリーズ』。私はこのシリーズが今野敏を読み始めたスタートだったので、ことさら愛着がある。講談社ノベルスから出ている。

一時期、テレビドラマでも大々的に取り上げられ、捜査に当たるST班員一人一人の独特の個性が描き込まれていて、読者はぐいぐい引っ張られていく。

「臨海署・安積班」シリーズなど

テレビといえばハンチョウ・シリーズ。右表中での順位は高くないが、短編集も含めて、大満足。

こう書くと、今野敏と言えば「警察小説」の第一人者のように受け止められるかもしれない。しかし、今野敏の魅力は「警察小説」の範囲にとどまらない。現在、リバイバル風に売られている『任侠学園』のシリーズは「警察小説」ではない。

格闘技を出発点に

今野敏の原点は格闘技・空手にある。右表の下に示したが、有名になる以前のシリーズもたくさんあり、ハラハラ・ドキドキさせられるものも多い。ロシア物もなかなか面白いものが多い。

最近の作品には、『呪護』鬼龍光一シリーズ・KADOKAWA・1700円 『キンモクセイ』朝日新聞出版・1600円 『スクエア』横浜みなとみらい署暴対課・徳間書店・1870円 『機捜235 (短編集)』光文社・1500円などがある。